

緊急事態宣言が5月31日まで延長され、同期間臨時休業も延長されることになっています。54回生のみなさんと再会できるのを心待ちにしておりましたが、感染状況を考えると、とても通常の学校生活は送れません。現段階の兵庫県の方針では登校可能日も設定しないとのことで、先の見通しが立ちにくく、もどかしく苦しい期間が続きますが、気持ちを強く持って今やるべきことに集中してほしいと思います。

さて、日本国内で新型コロナウイルスに関するニュースが連日報道されるようになった2月以降、さまざまな情報が錯綜し、社会が大きく動揺しています。専門家においても意見が食い違う現状からすると、そのような状況はある意味では当然のこととして受け入れなければならないのかもしれませんが、非常事態、特に初めて経験することにおいて、私たちは他人任せにはいけないことを学んでいるのだと思います。とはいえ、安全で安心できる環境や周囲の協力がなく、長期間落ち着いて生活していけないのも事実です。今一度、私たちにできること、やるべきことを考え、周囲の方々と協力してこの難局に立ち向かっていきましょう。

臨時休業中の課題一覧

※内容は学校HPに掲載中の課題一覧表にて確認してください。

※新たに課題が出されています(『5.8課題一覧』で確認)。

※**新たな課題のプリント類は来週各家庭へ郵送しますので、まずは今すぐできる課題から優先して行ってください!**

※**来週の郵送物の中にレターパックを同封しています。GWまでの課題を返送してもらいますので、準備しておいてください!**

進路実現に向けて④ ~模擬試験の実施~

進路実現に向けて、今回は対象者を限定して模擬試験を実施します。

【試験内容】

①4年制大学・短期大学・医療看護系学校進学希望者向け

⇒ **実力診断テスト(主催:株式会社ベネッセコーポレーション)**

※特徴…志望校の合格可能性が判定され、合格にむけた詳細な個人診断レポートが送付される。学校推薦型選抜や総合型選抜にも対応した記述式テスト。

※内容…国語・数学・英語・学習進路チェック(各50分)

※料金…1,900円(別途、郵送料250円)

②公務員(自衛官含む)就職希望者

⇒ **高校生公務員模擬試験(主催:大原法律公務員&スポーツ専門学校)**

※特徴…公務員試験の出題傾向を徹底的に分析した、精度の高いオリジナル問題。同じ職種を志望している高校生同士の順位が出るマークシート択一式テスト。

※内容…教養試験(100分)・適性試験(15分)

※料金…無料(別途、郵送料140円)

【実施方法・日程】

・5月中旬にテストを各家庭に郵送 → **5月中旬に自宅で実施**

・**6月1日(月)登校時に担任へ提出(臨時休業が再延長される場合は学校へ返送)**

【申込方法】

・受験希望者は**12日(火)までに学年の先生に電話にて申し込み**

・①の受験料+郵送料=2,150円、②の郵送料140円については、登校再開後(6/1)に持参

日本学生支援機構奨学金(予約採用)について②

本校で現在想定しているスケジュールについて、お知らせします。

【5月末で臨時休業が終了した場合】

- ・6月上旬 … 申込書類の配付
- ・6月中旬 … 申込書類の提出
- ・6月中下旬 … 申込内容のWEB入力(放課後に校内で実施)

【6月以降も臨時休業が延長される場合】

日本学生支援機構(JASSO)からの情報をもとに、本校の対応を改めてお知らせします。

※申込を検討している方へ

配付済みのパンフレットや**日本学生支援機構のHP(以下のページ)をご覧ください**。5月中に必要となる書類を準備しておいてください。特に**本人および生計維持者の「(マイナンバー)通知カード」**もしくは**「マイナンバーカード」**は**すべての方が必要**となりますので、紛失された方は再発行しておいてください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/teishutsu/>

《参考:大学・地方公共団体等が行う奨学金制度を検索できる(JASSO)HPの該当ページURL》

https://www.jasso.go.jp/about/statistics/shogaku_dantaiseido/



私の高校生活③ ~これしたいより、これせなあかん~

私が通っていた高校は地元の中学校の生徒が大半で、入学時には約半数の生徒が顔見知りでした。よって、入学直後特有の不安感もそれほどなく、落ち着いた高校生活の始まりでした。逆に緊張感があまりなかったせいか『目標を定めてスタートダッシュを決める』という意気込みもなかったように思います。高校2年生で理系コースに進み、3年生も全く同じクラスメート、同じ担任の先生だったので、人間関係などで大きく悩むこともありませんでした。

私が最も頑張ったと胸を張って言えるのが部活動です。顧問の先生がたいへん忙しい方で、平日はあまり練習に出てこられませんでした。そのため、自分たちで練習メニューを考え、決して甘えずにケジメを大切に取組んでいました。さらに、週に一度は自分たちだけでミーティングの時間を設定してとことん話し合うなど、決して妥協はしませんでした。チーム内で意見が対立して衝突することもありましたが、私は副キャプテンだったこともあり、キャプテンと部員間の調整役として奔走しました。その時の経験が、私を随分成長させてくれたと思います。

そんな私の大きな挫折は、勉強面で訪れました。2年生1学期の数学で何と欠点を取ってしまい、夏休みの指名補習の対象となり、部活動に支障が出ました。部員は1年生6名、2年生7名だったのですが、1年生よりも朝早く練習に顔を出し、準備などすべての雑用を行いながら補習に参加する日々でした。そのような辛い経験をしたものの、在学中はなかなか勉強に身が入らず、特に数学と英語は苦手意識を払拭できないまま大学入試を迎えました。結局、入試では思うような結果を残すことができず、親にお願いしてもう一度チャレンジさせてもらうことになりました。

その後の1年はワンルームの学生寮に住み込み、前年とは比べものにならないくらい勉強に明け暮れました。もともと生物が得意で将来は先生になりたかったので、高校の生物の教員免許が取れる大学に進みました。そこで動物に関する勉強に関心を持ち、ボランティア活動に打ち込んで、農業の先生に路線変更して現在に至ります。高校時代を振り返ると、部活動には自分たちの力で没頭できたのに、どうして勉強に身が入らなかったのか。先生は私のことを考えて声掛けをしてくれたのに、もっと先生の言うことをちゃんと聞いていれば…と大きな悔いが残っています。

【今回取材に応じてくれた先生から54回生のみなさんへメッセージ】

楽しむことは大切ですが、楽しいだけでは後悔が生まれる。5年後…10年後…さらにその先に良い思いができるように、ケジメやメリハリを大切にしよう!

